

18年度に実施した主な事業

市役所本庁舎耐震補強工事	1億2,459万円
生活保護扶助費	3億2,540万円
福祉の郷整備事業	1億6,125万円
保育園運営事業	5億1,106万円
ふるさと農道緊急整備事業	4,218万円
城下町回遊ルート整備事業	4,293万円
沖の沢郡山線街路事業	5億4,869万円
市道上の山線・土符線・東北線道路改良工事	6,072万円
小中学校施設耐震補強事業	4,166万円
小中学校維持補修工事	4,511万円
学校給食センター運営費	2億9,982万円

市民1人当たりの歳出額は367,494円

※人口39,264人（平成19年3月31日現在）で算出

総務費 80,723円 庁舎や財産の維持管理、税金の賦課、戸籍管理など	民生費 73,007円 高齢者、障害者福祉対策や医療福祉費、保育園運営事業など	公債費 61,636円 市債（借入金）の返済
土木費 38,298円 市道の整備・維持や公営住宅管理など	教育費 34,011円 各小中学校や公民館・図書館の運営など	衛生費 32,858円 各種検診事業や予防接種、環境保全など
商工費 14,983円 商工業振興や観光活性化事業など	農林水産業費 11,423円 農業の振興を図るための支援や生産基盤整備など	その他 20,555円 消防費や議会費など

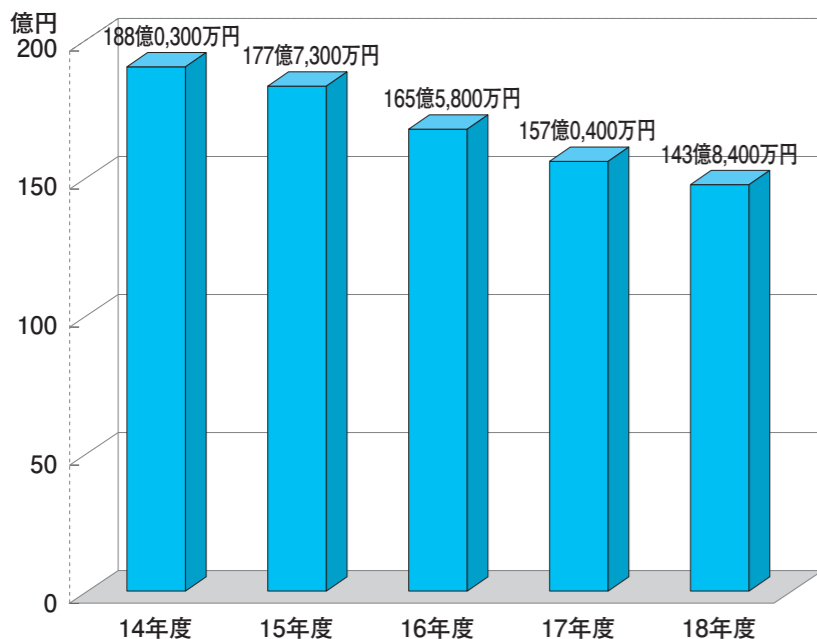
特別会計決算

	歳入	歳出
国民健康保険	38億5,710万円	37億6,099万円
下水道事業	15億8,599万円	15億2,091万円
介護保険	23億2,740万円	21億9,894万円
老人保健	45億4,938万円	45億0,619万円
農業集落排水事業	6億9,645万円	4億2,305万円
地方卸売市場事業	1,140万円	662万円

水道事業会計決算

	収入	支出
収益的収支 (営業活動に係る収支)	9億2,424万円	9億5,581万円
資本的収支 (施設の建設や改良に係る収支)	833万円	1億7,928万円

市債（借入金）残高の推移



市債（借入金）のあらまし

18年度末の市債残高は一般会計で143億8,400万円と前年度末より約13億2,000万円（8.4%）も減りました。18年度も地方交付税の市債振り替えや街路事業、市庁舎耐震補強工事をはじめとする防災対策などのために7億6,000万円ほどお金を借りましたが、その返済金の約7割を国が地方交付税という形で支払いを約束しています。

市債は主に、道路の整備費用や施設の建設費用などの長期間にわたって利用される公共事業に充てられます。市債を発行すると、年度間の財政負担を均等にできず、世代間の負担を公平にすることができません。

平成18年度決算

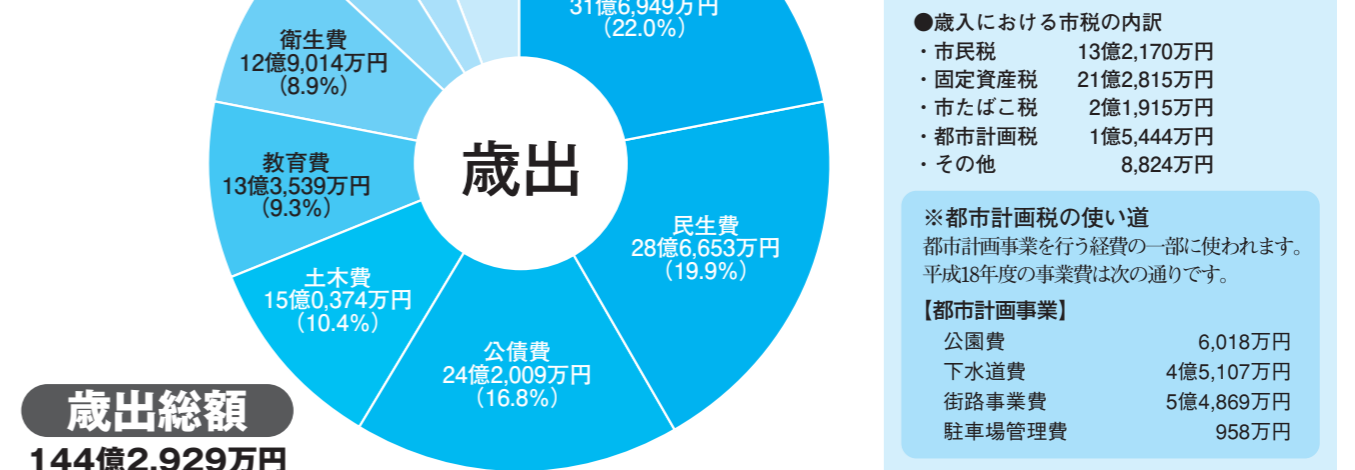
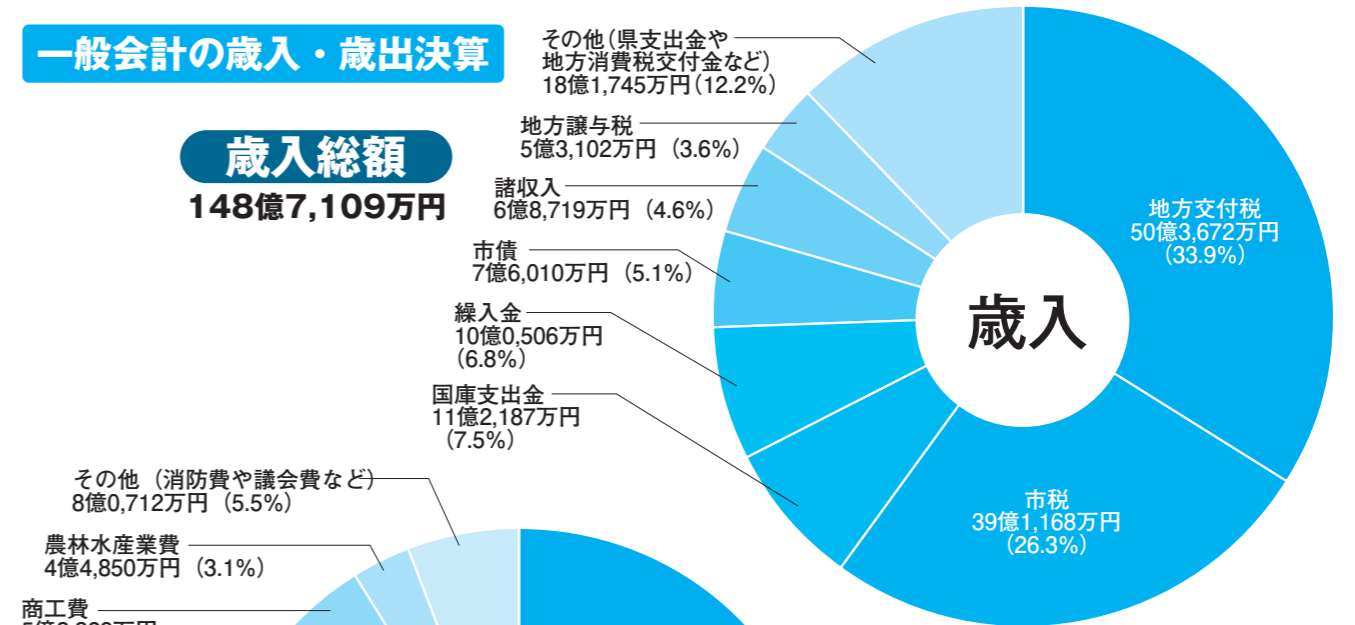
くらし日本一のまちづくりに

白石市の家計簿ともいえる平成18年度の各会計の決算がまとめられ、9月市議会定例会で認定されました。本市では、「くらし日本一のまちづくり」を実現するため、さまざまな事業を行ってきました。今月号では、18年度決算のあらましをお知らせします。なお、市のホームページでもご覧いただけます。<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/zaisei/kessan/index.html>

財政局 22-1332

一般会計の歳入・歳出決算

歳入総額 148億7,109万円



●歳入における市税の内訳

- 市民税 13億2,170万円
- 固定資産税 21億2,815万円
- 市たばこ税 2億1,915万円
- 都市計画税 1億5,444万円
- その他 8,824万円

※都市計画税の使い道
都市計画事業を行う経費の一部に使われます。平成18年度の事業費は次の通りです。

【都市計画事業】	
公園費	6,018万円
下水道費	4億5,107万円
街路事業費	5億4,869万円
駐車場管理費	958万円

歳出総額 144億2,929万円

平成18年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入が148億7,109万円、歳出が144億2,929万円、差し引きは4億4,180万円となりました。

この中には平成19年度へ繰り越すべき財源として1,375万円が含まれていますので、これを除いた平成18年度の実質収支額は4億2,805万円と黒字になっており、このうち2億1,410万円を基金(市の貯金)に積み立て、残りを平成19年度に繰り越しました。

●歳入 繰入金が73.1%（4億2,444万円）、地方譲与税が36.8%（1億4,285万円）前年度より増加した一方、一番大きい割合を占めている地方交付税は5.8%（3億0,891万円）、借入金である市債は33.8%（3億8,770万円）と大幅に減少しました。なお、市民の皆さんや事業所に納めていただいている市税は、地価の下落などの影響で前年度より0.2%（652万円）減って39億1,168万円でした。

●歳出 歳出に占める割合が大きいのは総務費、民生費の順となっています。また、旧かんぼの宿購入や本庁舎耐震補強事業などにより総務費が4.8%（1億4,639万円）、児童手当や生活保護費など、扶助費の増加により民生費が1.9%（5,223万円）前年度に比べ増加しました。逆に減少したのは、農林水産業費18.9%（1億0,480万円）、商工費10.5%（6,887万円）、土木費4.3%（6,802万円）でした。